

YACかわら版 630

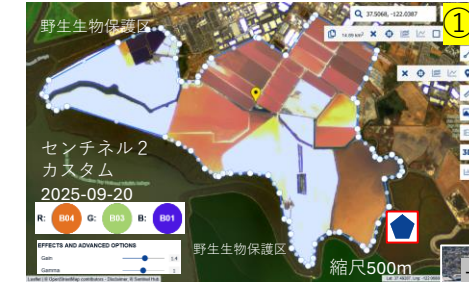
サンフランシスコ湾の塩田

あの有名なシリコンバレーの北側にサンフランシスコ湾の塩田があります。年間約50万トンの塩を生産しています。

日本の塩の消費量は年間で約780万トン。食用（家庭や飲食店で使われるものと、食品工業で使われるもの）が約74万トンです。
<https://www.shiojigyo.com/siohyakka/number/consumption.html>

塩田の広さはコペルニクスブラウザの機能で測定すると約14.8km²あります。サンフランシスコ湾南部の衛星画像には、塩田の海水の塩分濃度によって緑、赤、オレンジ、ピンクと色合いが変化する塩田のパッチワークが、その折々に見えます。

9月20日のセンチネル2観測データを、コペルニクスブラウザのカスタムのレイヤー等設定しました。（R:B04 B:03 B01 Gain:1.4）
 ① カーギル社のウェブサイトの塩田の画像と色合いは大きく異なります。③



本号では塩田の色合いの変化を、コペルニクスブラウザの多様なレイヤーで探ります。サンフランシスコ周辺は、秋冬春には雨が降り、その後乾燥した夏が続き、風が安定し、夏の日差しは、塩づくりに最適だそうです。

2025年6月22日と9月20日とを比較しました。⑤...⑥...
 サンフランシスコ湾の海水を塩田に取入れ、塩分濃度が高くなった海水はどのように塩田を巡るのかは不明ですが、北東の塩田の標高が高いようです。南側の塩田が白くなっています。（⑤ ⑥ 標高断面）
 世界各地に塩田が分布しています。コペルニクスブラウザが活躍する場面が多そうですね。



カーギル「海塩のつくり方」説明の意識

天日塩生産 太陽、風、そして時間によって自然につくられる



池のいくつかに見られる淡い緑からピンクまで、美しい色合いは、塩分を多く含む生息地で繁殖する微生物によって自然に生み出されたもの。

この豊かな生態系は、自然環境を支えている。同時に、これらの小さな生物は水質を調整し、より高品質な塩の生成を促進している。塩分濃度が一定値を超えると、微生物は姿を消す。

<https://www.cargill.com/story/how-sea-salt-is-made>

トゥルーカラー

NDWI (正規化差分水指数)

<NDWI (正規化差分水指数)>

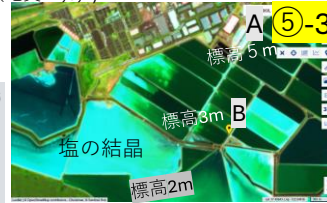
水分量の変化を確認できます。ログインすると、マーク位置の数値を確認可能。「0.5」より大きい場合は水域。塩分濃度が高くなると、指数も小さくなります。

<地質 12、8、2>

岩石などの種類を区別 天日塩→

<都市土地赤外線>

自然な色を、鮮明に表現しながら、バランスが保たれています。塩田も鮮明に表現します。

Geology 12, 8, 2
(地質12,8,2)Urban Land Infrared Color
都市土地赤外線色